

未来にはばただけ、明日は君たちのもの

春風に祝福され、それぞれの新しい学校生活がはじまりました。
地域社会に密着し、高い専門性を持つ「21世紀の新しい総合養護学校」を目指す府立舞鶴養護学校が開校し、初年度入学生を迎え入学式が行われました。
また、綾部市立上林小学校、綾部市立東綾小学校、舞鶴市立福井小学校、伊根町立伊根小学校では、統合校として新しい歴史を歩み出しました。



綾部市立上林小学校



府立舞鶴養護学校



舞鶴市立福井小学校



綾部市立東綾小学校



伊根町立伊根小学校

新規採用教職員辞令交付式

～期待を担い、新たに340名の教職員が赴任校へ～

平成17年4月1日に本年度新規採用教職員の辞令交付式が行われました。

式では、田原教育長から辞令交付が行われ、藤田教育委員長から「公教育を推進するにあたり、使命と責任を自覚し、誇りを持って職務に精励していただきたい。」と激励の言葉がありました。

続いて、新規採用教職員の代表が決意を述べ、全員が府民の期待と信頼にこたえる教育の担い手として決意を新たにし、それぞれの赴任校に着任しました。

新規採用教員には、これから1年間をかけて公立学校教員としての実践的指導力と幅広い知識や経験を身に付けるために研修が行われます。

本年度の新規採用にあたっては、先輩教員が「教える喜びや苦勞」を教員志望者に直接語りかける公開セミナー(HEARTセミナー)を実施し、教育への情熱ある教員を募集したところです。

また、教員志望の学生を対象として今日的な教育課題への認識を深め、実践的な指導力を養うため、京都教育大学や大学コンソーシアム京都と連携した「教員養成サポートセミナー」など、積極的に優秀な教員の採用に向けた取り組みを進めています。



「悠々として、急げ」

～田原 博明 京都府教育長が就任～



平成17年4月1日付けで田原博明京都府教育長が就任しました。
田原教育長は、昭和47年4月に京都府教育庁に採用され、生徒急増期の府立高校配置計画や教職員の人事管理など、一貫して府の教育行政に携わり、平成12年4月から京都府教育庁管理部長、平成14年6月から教育次長として勤務し、この度、第14代の京都府教育長に就任しました。
表題は田原教育長の「座右の銘」、京都府の教育課題に当たる心境を表したものです。

ここがポイント ～平成17年度「指導の重点」～

京都府教育委員会では、各学校(園)や社会教育関係機関の教育活動の指針とするため、本年度の取り組みの努力点を示した「指導の重点」を策定しました。

学校教育指導の重点

- 基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を生かす教育の充実
 - ◇「子どものための京都式少人数教育」の趣旨を生かした授業改善の推進
 - ◇ノーマライゼーションの進展などに対応した特別支援教育の推進
- 豊かな人間性をはぐくむ教育の推進
 - ◇「新京都府人権教育・啓発推進計画」を踏まえた人権教育の推進
- 学校評価・教職員評価制度などを活用した学校の活性化と教職員の資質向上 など

社会教育指導の重点

- 生涯学習推進のための学習環境の総合的な整備・充実
 - ◇ボランティア活動や現代的課題への対応など、生涯にわたる自発的な学習活動の促進
- 心豊かな社会をつくる自発的な学習活動の推進
 - ◇さまざまな人権問題についての正しい理解と実践につながる自発的な学習活動の推進
 - ◇子どもに読書習慣や、生命を大切にすることをはぐくむ家庭教育の推進
 - ◇活力ある社会環境づくりに向けた生涯スポーツ活動及び芸術文化活動の充実 など

※詳細については、京都府教育委員会のホームページでご覧いただけます。

平成17年度 教育委員会当初予算の概要

京都府教育委員会では、府民の皆さんの教育に対する大きな関心と期待にこたえるため、「新京都府総合計画」や「『京の子ども、夢・未来』プラン21」における4つの柱、7つの重点目標に基づき、教育改革を着実に進めています。平成17年度教育委員会の予算総額は、1,956億3,300万円となっており、京都府の予算総額の約4分の1を占めています。

A 学力の充実・向上と個性や能力の伸長を図る教育の推進

1 「確かな学力」の向上と自己実現【きらきらひとみ・授業プラン】

◎子どものための京都式少人数教育推進費

〔79億7,435万円〕

義務教育9年間を見通し、子どもたち一人一人に「確かな学力」を定着させるために必要な教員を配置し、きめ細かな指導を行います。

◆小学校低学年指導充実費

〔7億5,409万円〕

小学校1・2年生で、2人の先生による指導を行うための教員を配置します。配置は、基本的に30人を超える学級ですが、学校の状況に応じて弾力的に行います。

配置教員数 705人

◆京の子ども・少人数教育推進費

〔71億2,339万円〕

小学校・中学校で一人一人の子どもに応じた指導を行うため、少人数授業・ティームティーチング・少人数学級を市町村教育委員会の選択で実施します。

配置教員数 782人

◆全中学1年生英数少人数教育実施費（新規）

〔9,687万円〕

中学1年生で、初めて学ぶ英語科や学習内容が高度化する数学科において基礎学力の定着と学力の向上を図るため、30人を超える学級で少人数教育を充実します。

配置教員数 278人

◎学力充実総合対策事業費

〔3,180万円〕

◆京都夢・未来校の指定 23校の指定

〔630万円〕

国語や算数などの基本教科で、分かりやすい教え方や学習教材の研究・開発を行い、授業改善や学習指導の充実に生かします。

◆小学校基礎学力診断テスト、中学校学力診断テストの実施

〔2,500万円〕

小学校4・6年、中学校2年の児童生徒を対象としたテストにより、子どもたちの理解度を見極め、効果的な授業・指導方法の改善を進めます。

◎教科指導力充実費

（新規）〔200万円〕

高い教科指導力を持った府立高校の先生を育成し、大学進学を希望する生徒の学力をさらに伸ばし、より高い希望進路の実現を図ります。



2 多様な個性や能力の伸長【未来デザイン・応援プラン】

◎高校生等修学支援事業費（拡充）

〔10億7,989万円〕

勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な高校生などに、修学資金の貸付等を行うとともに、新たに修学支度金制度を設け、生徒の修学を積極的に支援します。

◎養護学校・地域等連携推進事業費（拡充）

〔200万円〕

養護学校の校区内を対象に福祉、医療、教育が連携して、教育相談等を実施するなど、障害のある子どもたちや保護者が地域で豊かに生活できるようサポートします。

3 社会の変化に適切に対応する能力の育成【地球みらい・創造プラン】

◎小・中学校社会人講師配置事業費

「京の子どもへ夢大使（大志）派遣」（新規）〔1,000万円〕

優れた知識や経験などをもつ多様な分野の専門家や著名人を「夢大使（大志）」として小・中学校に派遣し、子どもたちの興味・関心や、学習意欲を高める授業を行います。



府立高校改革推進計画に基づく第2次実施計画を策定

～平成18年度に様々な高校改革を実施します。～

●中高一貫教育の充実

中等教育の一層の多様化、選択肢の拡大を図るため、府中部地域で「中高一貫教育」を充実します。

<実施校>	府立園部高校（中学校を併設）
<中学校の通学区域>	府内全域（京都市を除く）
<中学校の入学決定方法>	面接、適性をみる検査、調査書等を用いて、総合的に決定

※平成17年度に八幡市における中高一貫教育に係る研究協議会を設置します。



●自然科学系専門学科の新設

最先端の科学技術の開発や人類が直面する課題にも挑戦する創造性豊かな人材の育成を図るため、理数教育に重点を置いた自然科学系の専門学科を府域にバランス良く設置します。

<設置校及び学科>	府立桃山高校 自然科学科(仮称)	府立南陽高校 サイエンスリサーチ科(仮称)
	府立亀岡高校 数理科学科(仮称)	府立西舞鶴高校 理数探究科(仮称)
<通学区域>	各校とも府内全域	
<選抜方法>	一般選抜及び推薦入学（適性検査を実施）	
<一般選抜の実施方法>	単独選抜	

※自然科学系の専門学科を設置する高校を「京都府グローバルサイエンスハイスクール」として指定し、先進的な理数教育や地域の特性を生かした理数教育の研究実践を行います。

●府立大江高校の学科改編と普通科総合選択制導入

<学科改編> 「ソフト経済科」を「ビジネス科学科（仮称）」に改編し、ビジネスと情報に関する知識と技術を基盤として、IT時代における経営企画や起業に主体的に参画する人材を育成する新しい時代の商業教育を展開します。

<総合選択制の導入> 生徒の興味・関心を高める特色あるコースを設定する「普通科総合選択制」を導入します。

<通学区域>	□丹、中丹及び丹後学圏
<選抜方法>	一般選抜及び推薦入学
<一般選抜の実施方法>	単独選抜

B 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を図る教育の充実

4 豊かな人間性の育成と健康教育の充実【あったかハート・元気プラン】

- ◎心のサポート推進事業費 [2億2,041万円]
いじめ、不登校や青少年犯罪が大きな社会問題となる中、児童生徒や保護者の相談に対応する総合的なサポート体制の充実を図ります。
- ◆スクールカウンセラー配置事業費 [1億5,390万円]
不登校、いじめなどの課題を解消するため、中学・高校に臨床心理士をスクールカウンセラーとして配置し、生徒、保護者、教員への助言・援助体制を充実します。
- ◆不登校児童生徒 | T等活用家庭学習支援事業費 (新規) [500万円]
| Tなどを活用して、家庭での学習支援や相談活動の在り方について実践研究を進め、ひきこもり傾向にある子どもたちの学校復帰・社会的自立を支援します。
- ◆民間施設連携支援事業費 (新規) [100万円]
不登校の子どもたちの学校復帰を支援する民間施設と連携して、学校との連携の在り方や学習・体験活動のプログラム開発などの実践研究を行います。

- ◎京の子ども伝統・文化体験事業費 (新規) [660万円]
中学生を対象に、京都の伝統文化を体験させることによって、伝統・文化を尊重する心をはぐくみ、自分の生き方を見つめる進路指導につなげます。
- ◎「心の教科書」作成費 (新規) [100万円]
京都府の独自性を生かし、道徳教育をはじめ幅広く活用できる「心の教科書」を作成し、小・中学校での「心の教育」の充実を図ります。
- ◎全国高等学校総合文化祭開催準備費 (拡充) [5,940万円]
平成18年に京都府で開催される第30回全国高等学校総合文化祭の円滑な運営のため、開催部門の充実強化など開催準備を行います。
- ◎望ましい食習慣普及推進事業費 (新規) [200万円]
孤食、欠食、偏食など子どもたちの食の課題に対応するため、教員用指導資料や保護者向けリーフレットを作成し、家庭と連携した食の指導を充実します。

C 府民の信頼を高める学校づくり

5 意欲・情熱を持った教員の育成【がんばる先生・支援プラン】

- ◎幼小連携推進費 (新規) [150万円]
遊びを通して学ぶ幼児期から教科学習が中心となる小学校への円滑な移行を支援するため、幼稚園、保育所、小学校が連携して、教員の研修や子どもたちの交流会などを実施します。
- ◎教職員評価制度導入事業費 [1,600万円]
府内全校（京都市立校を除く）で教職員評価制度の試行を行うなど、教職員の能力や実績が適正に評価されるシステムづくりを着実に推進します。

6 保護者や地域社会に信頼される学校づくりの推進【安心・信頼の学校推進プラン】

- ◎府立学校施設整備費 [30億6,900万円]
府立高校の普通教室冷房化や計画的な校舎改修に加え、災害予防のための耐震補強工事費を大幅に増額し、耐震化のスピードアップを図ります。
耐震補強工事 10校 8億2,100万円

※ 平成17年度京都府教育委員会当初予算の資料については、京都府教育委員会のホームページでご覧いただけます。

D 家庭・地域社会の教育力の向上

7 家庭・地域社会との連携強化【子育て・コミュニティ育成プラン】

- ◎ゆめ体験ネット推進事業費 [1,600万円]
地域社会で子どもたちを育てていく環境づくりを継続して進めます。特に、障害のある子どもたちの体験活動を充実するなど、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもたちの育成を推進します。
- ◎府立高校サタデー広場活動事業費 [1,100万円]
府立高校施設を活用し、土曜日における子どもたちの体験活動・学習活動の充実を図ります。
- ◎地域別教育活動推進費 (新規) [300万円]
各教育局管内の教育的課題について、地域と連携して課題解決を図る独自の取り組みを各教育局ごとに進めます。



「『京の子ども、夢・未来』プラン21—京都府の教育改革—」とは

京都府の教育改革を総合的に進める指針として、平成13年に「『京の子ども、夢・未来』プラン21—京都府の教育改革—」を策定しましたが、教育改革の一層の推進や教育の更なる充実を目指し、時代の進展等を踏まえた見直しをこの2月に行いました。このプランは「新京都府総合計画」を基盤にしながら、21世紀を担う子どもたちが確かな学力、豊かな人間性、健康や体力などの「生きる力」を身に付け、夢や希望を持って世界にはばたく人間として育つことを目指しています。

●口丹・中丹・丹後通学圏の選抜制度改善

受験機会の複数化と多面的な評価尺度を取り入れた前期特色選抜を導入するとともに、一人一人の希望に応じた高校選択の範囲を広げるため、通学区域の弾力化を図ります。

- <実施内容> ①前期特色選抜の導入
 - ・高校の特色に応じた生徒を募集
 - ・自己申告書、面接、作文、報告書等による選抜
 - ・普通科第I類、第II類で、募集定員の10%以内を募集
 - ・3通学圏内の普通科（類・類型制）を置くどの府立高校でも志願可能
- ②通学区域の弾力化
 - ・普通科の他通学区域から入学できる割合を拡大

●長期欠席者特別入学者選抜

不登校等による長期欠席生徒に係る報告書の評定を用いない特別選抜を実施します。

- <実施校> 府立朱雀高校、府立城陽高校、府立西舞鶴高校
- <通学区域> 府内全域
- <選抜方法> 学力検査、面接及び作文（中学校の評定は選抜資料として用いない。）
- <出願要件> 中学校での欠席日数が、不登校等長期欠席によりいずれかの学年で30日以上ある生徒
- <募集人員> 各高校 若干名



～大切なみちすじ～

府教委広報は、昭和41年7月に産声をあげ、本誌で100号を迎えました。この39年間の府教委広報を振り返ってみますと、人権に関する内容を多く掲載しています。その中でも創刊第2号では、特集を組み「差別を許さぬ人間の育成」と題して

差別を許さぬ人間としての感情や、正しい判断、認識のしかた、問題のとらえ方を、子どもたちの発達段階に即して培い、身に付けていくことが最も大切な道筋であります。（一部抜粋）

とまとめています。

このように、府教育委員会は、一貫して人権意識を高めるという基本姿勢に立ち、さまざまな人権問題についての正しい理解や認識の基礎を培うとともに、態度や実践力を育てる人権教育を推進してきました。

子どもの人権意識を高めるためには、学校と家庭が連携して働きかけることが大切です。この間、府教委広報では、学校での取り組みや親子で話し合えるきっかけづくりとなる記事を掲載し、豊かな心を育てることを家庭へも呼びかけてきました。

今後とも、一人一人の尊厳を大切に人権教育の推進のため、この人権コーナーの充実に努めたいと考えています。



「学校評価」と「教職員評価」が始まります 学校改革と資質向上へ

「学校がどう充実したか」・「一人一人の教職員がどれだけ努力したか」

学校評価 ～本格実施～

学校は校長が明示する経営目標・計画に基づいて教育活動に取り組んでいます。学校の教育活動が目標や計画に沿って進められているかなどを評価し、成果と課題を明らかにして、改善の方策を得るのが学校評価のねらいです。

また、学校評価では、保護者や学校評議員の方々の意見を参考に評価し、その結果を分かりやすいかたちで公表することが求められています。

京都府では、平成17年度からすべての府立学校と市町村（組合）立学校で学校評価を本格的に実施し、より一層府民に開かれた学校づくりに努めます。



教職員評価 ～全校試行～

子どもたちや保護者、地域の人々の願いや期待をしっかり受け止め、意欲と情熱をもって取り組む教職員の努力を適切に評価するために、京都府では教職員評価制度をすべての府立学校と市町村（組合）立学校で試行します。

教職員評価制度は、自己評価や校長等からの評価を通じて一人一人の教職員の資質能力を向上させ、学校組織の活性化を図っていくとすものす。

今年度の試行状況を検証し、必要に応じてシステムに修正を加え、平成18年度からは本格的に実施する予定です。

応援します、あなたの学ぶ志 高校生等修学支援事業について

京都府では、経済的理由により修学を断念する高校生等がでないよう、多様な奨学制度を用意しています。平成17年度からは、これまでの貸与制度に、日本育英会高校奨学金を引き継いだ内容を新たに加えるとともに、高等学校等入学により必要となる修学支度金を盛り込んだ制度を創設しました。自らの将来を切りひらくとともに、社会の発展のために活躍できるよう、この制度を積極的に活用してください。

概要（平成17年度新入生の場合）

制度	内容	申請時期
①高等学校等修学金貸与制度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都府から貸与 ○ 貸与額 国公立 月1万8千円 私立 月3万円 ○ 所得要件 くめやす 4人世帯で年収約510万円以下 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学3年生在学中に貸与予定決定された方＝平成17年5月2日（月）まで ○ 貸与予定決定されていないが、4月分からの貸与を希望する方＝平成17年5月16日（月）まで ○ 年度途中で申請を希望する方＝随時（申請日の翌月分から貸与）
②修学支援特別融資利子補給制度 新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金融機関の融資利用者への利子補給 ○ 融資限度額 国公立 64万8千円 私立 108万円 ○ 所得要件 くめやす 4人世帯で年収約510万円超かつ主たる生計維持者の年収約800万円以下 	○ 平成17年5月16日（月）まで
③高等学校等修学支度金貸与制度 新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都府から貸与 ○ 貸与額（定額）国公立 5万円 私立 25万円 ○ 所得要件等 くめやす ①の貸与を受ける者で主たる生計維持者の年収が150万円未満 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学3年生在学中に貸与予定決定された方＝平成17年5月2日（月）まで ○ 貸与予定決定されていないが、平成17年度分の貸与を希望する方＝平成17年5月16日（月）まで
④修学支度金特別融資利子補給制度 新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金融機関の融資利用者への利子補給 ○ 融資額 国公立 5万円 私立 25万円 ○ 所得要件等 くめやす ①の貸与を受ける者で主たる生計維持者の年収が150万円以上 	

※平成16年度以前の入学生は、「①高等学校等修学金貸与制度」のみ利用できます。
※問い合わせ先 京都府教育庁指導部高校教育課奨学係（TEL075-414-5856）

※②、④の金融機関は京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫、京都北都信用金庫です。



きょういく きた みなみ

綾部市立豊里中学校 ～地域社会とむすぶ人権教育～

豊かな感性と人間性の育成

本校は、府教育委員会指定の「京都夢・未来校」として、「差別の現実から深く学ぶ」ことを大切にしてきた同和教育の成果や手法の評価を踏まえて、豊かで確かな人権教育の確立に向けた取り組みを進めています。

同和教育をはじめとするさまざまな人権問題の解決に向けた意欲と実践力を培うために、生徒と保護者、地域社会が共に学ぶ機会をもっています。

また、人権問題と生徒自らの生き方を結びつけた学習を行うため、地域のゲストティーチャーを招き、差別の現実から深く学んだり、体験活動を行ったりするなど、工夫した取り組みを進めています。



木津町立相楽台小学校

目を輝かせて自ら学ぶ 理科学習

本校は、府教育委員会指定の「京都夢・未来校」として、指導方法の工夫改善による確かな学力を定着させるための研究実践を進めています。

理科の授業では、疑問や課題に対する児童一人一人の自由な発想を大切にしながら、興味・関心や習熟の程度に応じた少人数指導、児童自ら課題を選択して進める学習等、個に応じた指導の充実に努めています。

また、関西文化学術研究都市の研究施設「きつづ光科学館ふおとん」の方など地域の社会人講師の専門性や経験を生かした指導によって、「日常生活の中で不思議に感じていることが、『一人一実験』で試すことができるから楽しい。」との感想を持つ児童が増えるなど、主体的にもっと学びたいという探究心が着実に育ってきています。



トータルアドバイスセンター

～気軽にご相談ください～

子どもの成長や発達、不登校、いじめ、子育て、しつけなどについて臨床心理士や精神科医が相談を受けます。

	府総合教育センター内 (伏見区)	府総合教育センター 北部研修所内(綾部市)
電話教育相談	毎日【祝日を除く】 8:30～20:30 ☎075-612-3268 ☎075-612-3301	月～金【祝日を除く】 10:00～19:00 ☎0773-43-0390
来所教育相談	月～金【祝日を除く】10:00～17:00 (前もって上記の電話で予約してください)	